

「長野県教員等ネットワーク」の活動について

北原 三代志

(15-1, バングラデシュ, 体育, 長野県須坂市須坂園芸高校)

長野県須坂園芸高等学校から参りました北原三代志と申します。よろしくお願ひします。私は15年度1次隊でバングラデシュ、体育、ということで、体育大学で教員養成の事務所に所属しておりました。

最初の写真ですけれども、今年というか今年度、10月に行われました私のクラスの文化祭の写真です。後ろにパネルがあるんですけれども、これ JICA の駒ヶ根からお借りしたパネルで、また後ほど連携についてお話ししますけれども、今日は長野県教員とのネットワーク活動についてということで、帰国した隊員、それから国際協力に興味のある先生方、それから総合的な学習の時間等で、教材作りで悩んでいらっしゃる先生方の連携プレーのお話をしたいと思います。

長野県教育委員会の課題ということで、当時平成17年だったんですが、義務教育課長さんが JICA 駒ヶ根の方に、なんとか外国籍の子どもたちの対応ということで協力してもらえないかということで相談がありました。その JICA 所長が我々帰国隊員の報告会で集まったときに組織を作って協力できないかということで、18年の1月にネットワークというものが立ち上がりました。

我々の任務の一つとして、帰国後、活動してきたことをこういうふうに子どもたちにいかに還元するかということも含まれていたのですが、私も帰ってきたあとさてどうしようかと思っていたのですが、でも現場の学校では忙しくてなかなか展開できなかったわけですけれども、まあそういう先生方がいらっしゃる。それから先ほどもお話ししましたがけれども、総合的な学習の時間、特に国際理解という分野でどうやって子どもたちに教えていくというか、授業を展開していったらいいのかわからないという方がいらっしゃるって、そういう組織作りですね、メーリングリストを始めました。

主な活動ということで私運営委員なんですけれども、小中高2名ずつ運営委員がいて、打ち合わせ、連絡会とか、企画。10月にも同じような話をさせていただいたと思うんですけれども、はい。

HP なんですけれども、これは今年の3月に、まあ管理は JICA の駒ヶ根にやっていたらいいんですけども、情報交換として、ここに掲載されているものは自由に使っていいと、写真でもなんでも、逆にそれが今ネックになってなかなか進んでなくて、本当でしたら、世界地図をクリックすると、ここの国にはこの人たちがいて、こういう情報を持っている、ということがさっとわかるようにしたいんですけれども、まだちょっとそこまではいけてなくて、これからです。

それから先ほどの活動ということですが、私の文化祭のことを例にあげて連携を説明したいと思うんですが、昨年の10月の文化祭に向けて、夏休み前から生徒たちと話をできてですね、今2年生の担任なんですが、去年は、1年のときは、一般的な発展途上国についての調べをして、今年はバングラデシュに絞って考えようということで「バングラデシュを見よう・食べよう・買しましょう」というタイトルで夏休みに JICA 駒ヶ根に行きまして、現地で活躍されたボランティアの方に、現地の状況を、私が話してもいいんですけども、誰か他の人が話したほうが子どもたちは真剣に聞きますので。でこの候補生の方、バングラデシュに行かれる方と歓談しながらお話を聞いた感じですね。

これ文化祭なんですけれども、この方はスリランカ OG で、ぜひ手伝いに来てくれということで、サリーの着付けを教えてくださいまして、生徒たちも勉強しました。来てくださった小さい女の子に着せてあげて、それくらい上手にできるようになりました。「見よう・食べよう・買しましょう」ということなんですけれども、カレーはですね、私がちょっと教えて、スパイスはバングラデシュスパイスなんですけれども、スパイスと肉以外は、園芸高校ですので、すべて学校の食材を使いまして、まあ大盛況で、おいしいと食べてもらえたんですが、あと「買しましょう」ということで、フェアトレードについて勉強して、シャプラニールという NGO の団体があるんですが、そこに企画していただいてですね、売上金は還元しようということで、生徒たちと、まあこういう民芸品を見ると、刺繍とか、日本とは違った素材を使っているというところがあるので、そんなところからも文化を学ぶ機会、勉強と。

私は体育の教員なもので、なかなか授業の中で、こういうことは扱えないんです。文化祭であれば、高校中のできるし、また自分ひとりではできないことも、いろんな情報とかサポートを得てですね、で、もちろんこの活動も HP に載せて、こういうようなことをやりましたから、似たようなことをやりたかったら、声をかけてくださいということも、HP を通じてですね、呼びかけをしてあります。そのような情報交換ですけれども、年に2回、帰国隊員報告会と、あと公開セミナーというところで、5月にあったんですけども、午前中に HP の内容について検討してですね、お昼ちょっと前から公開予定で、私の方で参加者に活動を説明してですね、ご協力くださいということなんです。その中で、模擬授業、塩尻志学館高校の社会の先生で16-1、エクアドルですね、色々な教材を作って、こういう授業をやって、ああいいなあと思うと、どうぞ教材も持ってってくださいということで、JOCA だといくらお金とられるんですけども、ここでは無料で、必要とあらば。また、隊員候補生を交えてですね、…そんなこともやっています。

今後の課題ということで、いっそう内容の充実をしていかなければならない、小さな問題でももってきて、できれば長野県にとどまることなく他県とも情報交換、あと県内の理解ですとか、そういう連携もしていかなければならないんじゃないかと。次回は、ああ1月の、今月ですね、27日にまたぜひ行いたいと思います。

今県内で問題になっているのはですね、外国籍の子どもたちとその保護者との対応、言葉がわからないとか、そういうことで、長野に国際協力推進協会というのがあります、そこで通訳を派遣しているんですが、我々もそういうことをお手伝いできないだろうかということで、とくに必要とされるポルトガル語研修とか、そんなことも、JICA 駒ヶ根と協力して計画しております。

個人的には、今年2月の3日なんですが、須田川(?) というところにあるボランティア団体にですね、ぜひバングラデシュの話をしてくれということをお願いしたので、話だけではおもしろくないからと、じゃあカレー作りますよということで、カレーを200食くらい作って、その中で・・・考えてますけれども、なかなか県知事が変わってしまいますと、我々の思惑も途中で腑抜けてしまったりと大変なんですけれども、がんばっていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。以上です。